

# 芸 能 こ そ 本 源

渡辺豊和『和風胚胎』出版記念会

概 要：数寄屋は世界の建築表現でも極めて特異な形式であろう。この数寄屋は中世、特に応仁の乱以後京都が焼け野原となり貴種が流離を余儀なくされたときのアバラ屋をモデルにして発生した。ということは時代精神の結晶ともいえる。バラックは庶民のものでありそれが建築表現の先端となったのだからアヴァンギャルドでなくてなんであろう。またこれを具現化した工匠の意識に芸能性を鮮明にみてとれる。映画特に鞍馬天狗などの時代劇は芸能性を濃厚に宿しておりその意味で数寄屋につながるのではあるまいか。

日 時：2008年2月23日(土)

16:30 開 場

17:00~18:00 講演：「記憶のフィルム 鞍馬天狗のころ」森脇清隆

18:00~19:00 パネルディスカッション：「映画と建築の近似性」  
森脇清隆×松本 正×渡辺豊和

19:30~21:30 懇親会

会 場：学芸出版社3階ホール

出 演：渡辺豊和、ゲスト：森脇清隆、司会：松本 正

定 員：100人程

参加費：講演会 4000円(本付)、懇親会 5000円、当日受付徴収

後 援：学芸出版社

主 催：『和風胚胎』出版記念会実行委員会

予約・問合せ：『和風胚胎』出版記念会実行委員会

・住 所 〒600-8216 京都市下京区木津屋橋通西洞院東入 学芸出版社内

・地図掲載 <http://www.gakugei-pub.jp/kaisya/index.htm>

・電 話 075-342-2600 FAX 075-342-2605 (担当：村田)

・E-mail [murata@gakugei-pub.jp](mailto:murata@gakugei-pub.jp)